

1 今回の審議会について

新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、委員出席での審議会が開催出来ず、在宅での審議となった。

2 審議の方法

各委員へ、9月3日までにメールにて試聴番組の音声データを送付し、各委員は試聴後、その講評を9月10日までに返信した。

3 委員について

委員の総数 5人

在宅での審議を行った委員数 5人

- (1) 委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

4 審議の概要

2021年8月に放送した夕方のワイド番組「B.E.A.T 火曜日」について、試聴と意見交換を行った。

(番組説明)

毎週月～木16:00～18:55分に放送している生放送ワイド番組「B・E・A・T」。

今年4月にリニューアルし、ツインDJスタイルからソロに変更しました。

現在は、曜日毎の担当で、月水が女性、火木が男性です。

音楽、県内情報、県内スポーツ情報を中心に、曜日毎にパーソナリティの個性を生かしたコーナーなどを展開しています。

今回は、長年レディオベリーのパーソナリティとしても活躍しているベテランの岡田眞善が担当している火曜日の番組を試聴して頂きます。

【審議番組についての意見】

委員：自然でテンポの良い流れ。安心して聴いていられる。

マイトピックスのコーナーは、思わず身を乗り出して聴き込んでしまうような、目の付けどころの面白さと軽妙さを感じた。

ゲストとのトークも受け答えのタイミングに冗長さがなく、集中できた。

東京オリンピックにちなんで、年代をさかのぼるコーナーは、誰もが楽しめるコーナーだと思うが、どこまでさかのぼるのか？

この先、終わってしまった東京オリンピックにちなんでいくのは、難しいのではないか。

B・E・A・Tが始まってすぐに、「はびねすくらぶ」他で16:10~16:25が番組の主線から外れてしまうのが残念。色々な事情があると思うが、導入はとても大切なので、今一度、ご考慮いただきたい。

委員：岡田眞善さんのトーク力、瞬発力は、まさに脂が乗っており、親しみやすさ、元気さ、チャーミングさ、大人の男性の魅力をも兼ね備え、どこを聞いても楽しめるものだった。シリアスになりやすいワクチン接種の時事ネタを、明るいものに変える柔軟さ、巨人ネタをさらっと栃木ネタにするところ、何気ない一言にセンスの良さが光っていた。また、最初から最後まで落ちない集中力にも感心した。別の面では、ワンパーソナリティーでの番組を、しっかり支えようというスタッフ、ディレクターの意気込みが感じられる内容だった。パーソナリティーとの信頼関係すら感じる、構成・リズム感で、充実した番組運びだったと思う。端々に見える栃木への愛情も好感が持てた。全ての曜日を聞いたわけではないが、局が力を入れて新しい帯番組を成功させるべく力を入れているのがよく伝わってきた。

委員：聞きやすい声と落ち着いた語り口で安定感あり。ワクチン接種での副反応の話は、ならではの真骨頂。話しは面白いし運びも上手なのだが、ソロのパーソナリティーで3時間という役回りはベテランの彼でも余り経験が無いのかもしれない。聞きやすい声やおちついた話しぶりが、かえって単調でときに情性になってしまいがちな印象。日刊工業新聞の小野里さんは上手。明解で聞きやすく内容もあり、ラジオ向き。話の内容がやや硬派なもの、良いアクセントになっていると思う。MUSIC LEGACYコーナーは、やや埋め草感はあるものの、しばらく楽しめそうな予感がして好感。映画や音楽などネタは尽きないだろうが、1年ごと、ということだから、“その1年にこだわったなにか”が期待される。3時間のソロパーソナリティーという企画が、単なる一時的な「省エネ」企画ではなく、文字通りその人の人間的魅力が番組の質を決めるといふ、ラジオパーソナリティー本来の真剣勝負の場になっていけば大いに価値も上がると思う。他の三人の方々の番組も、ダイジェストでも良いので番審で取り上げてもらいたい。切磋琢磨が生まれる帯になるのを期待している。

委員：番組の冒頭、本日のリスナー投稿のテーマが「忘れられない夜」と発表された。何を書けばいいのだろうと考えたが、発想の転換を促す、適切かつ面白いアドバイスがあり、熟達のコメント力を感じた。野球の話題は、おそらくディレクターが調べたものなのだろうが、細かい情報をフォローしていると驚いた。新型コロナワクチン接種の話は情報の新鮮さからも関心が高かったはず。注射針を打たれた感想がとても面白かった。さらに七つの副反応にはにやりと笑ってしまった。途中までのアナウンスはゆっくりで聞き取りやすかったが、ミュージックレガシーでは一転して早くなって聞き取れない部分が多かった。全体的に言えば、岡田さんのアナウンス力は秀逸で、飽きることなく番組が楽しめた。

委員：コロナワクチン接種の話題から入ったが、岡田さんらしくユニークに紹介してくれた。
8月放送ということで不安に思いながら聞いている人も多かったと思われる。
その点ではワクチン接種を身近なものにしてくれるようだが、その上で少し医療的観点が欲しい。
日刊工業新聞記者からのリフォームの話題では、岡田さんが記者の話を引き出すのが上手。
経済の仕組みがソフトに伝わる枠組みは、ながら聞きに向いていると思った。
夕方の時間に聴取者層が社会の動きを知りたいという声があるならば、こういうニュースの時間
枠を増やしてゆくのもいいのではないか。
ミュージックレガシーは興味深く聞いたが、これらの内容は局内で構成するものか、何らかの資
料などが共有され、用いているのか気になった。時節柄内容についての正確さやその内容をどう
担保するかについてのことは意識しておいてもいいのではないか。
メールのコーナーで感じたことだが、B・E・A・T自体がもっと外部の人々とのつながりを持つ
ことで持続性が出てくると感じた。メール投稿、識者含めつながりを創出してゆくのがいいと考
えるがその仕組が構築できているのかどうか少々不安だった。
地元とのつながり、情報の集め方の仕組みを早い段階で検討してはどうだろうか。
夕方に向けて意識的にやっているのかもしれないが、番組エンディングのトーンについて語りの
時間がやや抑制的に聞こえた。長時間の生番組ゆえ仕方ないことではあるが、他局が元気のいい
時間帯であるがゆえにもう少しテンションを上げてもらいたいと希望する。
全般としては番組構成も岡田さんのトークも安定していて、聞き良い時間だと感じた。

(以上)

(1) その他
なし

(3) 次回開催日程について

委員出席の上、10月11日(月)に審査会を予定しているが、
新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、日程や審議方法を再度検討することとする。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 9月26日(日)午後 7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし